



まつもと じゅん

中区・磯子区・金沢区
まちかど
政治瓦版



平成30年4月1日号
発行
かながわ
1区支部
発行責任者
平木 茂
4月号
2018年
No.184

松本純ホームページ 毎日更新中! [http:// www.jun.or.jp](http://www.jun.or.jp)

▶ 検索キーワード「松本純」

街を守り、生業を守るために

松本純の公約『事業承継税制』改革が本年度より実現!

松本純が議員連盟を作り政府に要望していた『事業承継税制』がほぼ満額回答で認められ、本年度から始まることになりました。

現在、中小企業経営者の高齢化が進んでおり、今後10年の間に、70歳（平均引退年齢）を超える中小企業・小規模事業者の経営者は約245万人にも及びます。しかし、半数以上は事業を承継するための準備を終えておりません（中小企業庁）。そして、これを放置すれば、産業や地域社会にも大きなダメージを与える結果になりかねません。



「事業承継税制」改正を松本衆議に要望して下さった横浜商工会議所（上野孝会頭）の野並直文副会頭（右）と川本守彦副会頭（左）

この問題に対処するために、従来からあった事業承継税制を改善し拡充する必要がありました。今回の改革の大きなポイントは、次の通りです。

- 1、猶予の対象となる株式数の上限を撤廃し、猶予割合を100%に拡大
- 2、対象者の制限を大幅に緩和し、複数の株主から最大3人の後継者への承継も対象に
- 3、5年間平均で8割以上の雇用を維持するという要件を見直し、未達成の場合でも猶予を継続可能に（経営悪化等が理由の場合、認定支援機関の指導助言が必要）
- 4、将来、株式の売却や廃業する際は納税額を再計算し、承継時の株価に基づく納税額との差額を減免

これにより、贈与税・相続税の負担が緩和され、事業承継にあたっての不安を大幅に解消します。

神奈川県では、経営承継円滑化法に基づく認定を受けた中小企業者は、神奈川県中小企業制度融資の「フロンティア資金（新たな事業展開対策）」の融資対象にしており、制度融資を活用できる仕組みを構築しています。そして、事業を引き継ぐ人（承継人）がいない場合でも、継承希望者とマッチングさせる『神奈川県事業引継ぎ支援センター』を創設しており、簡単に相談できる仕組みと取り組みも始まっています。また、近日常に事業継承に興味のある方のための専門家を交えた説明会や相談会も各地で開かれる予定になっています。

いくら制度を作っても、それが活用されなければ意味がなく、それを知らしめ、さらに改善してゆくことが松本の使命であると考えています。ご興味のある方やお困りの方を見かけられましたら、下記の窓口にご相談ください。松本はこれからも、街を守り生業を守るための仕組みづくりに邁進してまいります。

（相談窓口）神奈川県産業労働局 中小企業支援課（かながわ中小企業成長支援ステーション）
電話 046-235-5620（直通）

いま地域で
(人・まち・出来事)

追悼「ハマスタのドン」

元・株式会社横浜スタジアム社長 鶴岡博さん



ありし日の鶴岡博さんと。横浜スタジアムにて

ヨコハマの文化環境を創出し、その維持発展に大きく貢献された鶴岡博さんが、昨年末に亡くられました。享年78歳でした。

若葉運輸の社長を務めながらも、横浜青年会議所の理事長時代に現「横浜スタジアム」の設立に奔走、2000年から14年間、(株)横浜スタジアムの社長を在任するなど、「ハマスタのドン」として今日の横浜ベイスターズの発展に大きく寄与されました。

横浜といえば「ジャズ」という音楽的風土を定着させたのも鶴岡さんです。中区でジャズライブレストラン「Bar Bar Bar」を経営、若手ジャズメンに活動の場を提供する傍ら、ヨコハマジャズ協会を立ちあげ、わが国最大級のジャズイベントの一つ「横浜ジャズプロムナード」の恒例化に尽力されました。また関内地区を舞台とした「ヨコハマ大道芸」の初代実行委員長や、同地区の振興を図る「関内を愛する会」の会長としても活躍されました。鶴岡さんの横浜愛の原点は、終戦直後、焼け野原となり、何もなくなってしまった横浜の街。小学1年生の時見たその光景に、他都市にはない魅力をここに創りたいという想いに駆られたと話されていました。誰からも慕われる包容力のある方でした。心よりご冥福をお祈りします。

【2018年3月】

松本議員の活動記録

- 1日●国会対策正副委員長打合せ
●自民立憲国対委員長会談
●社民党新役員ご挨拶
- 4日●米国在住日系人一行との夕食懇談会
- 5日●国会対策正副委員長打合せ
●自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会
- 6日●自由民主党社会保険労務士議員懇談会総会
●自民党役員連絡会

- 7日●衆参与党国対
●自民立憲国対委員長会談
- 8日●議院運営委員会与党理事懇談会
- 9日●衆院本会議
- 10日●日本薬剤師会第90回臨時総会
- 11日●東日本大震災七周年追悼式
- 12日●第10回「医薬の明日を語る」



3/5 自民党神奈川1区支部大会・松本純後援会総会 ●夕刻はものすごい雨と風で参加者の皆さんが会場まで到着されるか心配でしたが、足元の悪い中おおぜいのお客様にご参加いただきました。



3/7 自治体消防制度70周年記念式典●天皇后両陛下のご臨席を仰ぎ、国技館にて挙行された式典、地元から中区の伊勢佐木消防団の吉村邦男団長、永田二郎副団長等が団の受章のため出席されました。



3/10 社労士による松本純さんを囲む会総会・懇親会●松本純代議士より国政報告に続き「アベノミクスが我が国の雇用に与えた影響と今後の展望」についての政策勉強会が催されました。



3/11永井良和氏旭日小綬章受章祝賀会●全国水産物商業協同組合連合会会長を務める永井良和氏は水産物流通業の振興と発展に多大な貢献をされた功績により昨秋、旭日小綬章を受章されました。

永田町日記

「デフレ」って何？

2012年、安倍政権は『デフレからの脱却』を最重要課題として、選挙公約にしました。そして、それを実現すべく量的緩和や政労使会議による賃上げ要請など努力を重ねてまいりました。その成果が雇用指標や賃金にあらわれはじめました。

デフレは物価の下落が先にあり、利益の圧縮によるマイナス効果が後から現れます。

このため、一見、消費者にとって良い現象に見えてしまいます。しかし、日本全体でこれが起きると、経済規模が縮小し続けるというデフレスパイラルに陥り、不景気の連鎖が起きてしまうのです。

これを逆転させるためには、消費者が値上げに寛容になる必要があり、そのために一番大切なことは賃金の上昇ということになるわけです。

今年の春闘は政府が求めた3%前後の水準で決着する企業も多く、まだまだですが、デフレ脱却の条件が整ってきました。